

Job

Chapter 16

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיֹּאמֶר: וַיַּעַן אֱיֹב וַיֹּאמֶר: וַיֹּאמֶר: 1
そして-言った ヨブは そして-答えた
[H0559](#) [H0347](#)

そこでヨブは答えて言った、

שָׁמַעְתִּי כַּאֲלֵהָ רַבּוֹת עֲמַל מְנַחֲמֵי כָלְכֶם: 2
聞いた このような-ことを 多く 慰める-者たちよ あなたがた-皆は
[H8085](#) [H0428](#) [H5162](#) [H5999](#) [H3605](#)

「わたしはこのように事を数多く聞いた。あなたがたは皆人を慰めようとして、かえって人を煩わす者だ。

הֲתַעֲנֶה: הֲקֵץ לְדַבְרֵי-רוּחַ אֵו אִי מַה-יִּמְרִיץְךָ כִּי תֵּעָנֶה: 3
終わりが-あるのか 言葉に 風の あるいは 何が あなたを-駆り立てるのか それで 答えるのか
[H7093](#) [H1697](#) [H7307](#) [H4100](#) [H4834](#)

むなしき言葉に、はてしがあるか。あなたは何に激して答をするのか。

וְגַם אֲנֹכִי וְנַפְשְׁכֶם אֲדַבְרָה לְךָ יֵשׁ נַפְשְׁכֶם: 4
私も また あなたがたの-ように あなたがたの-魂が あったなら もし 語ることが-できた
[H1571](#) [H0595](#) [H1696](#) [H3863](#) [H3426](#) [H5315](#)

וְתַחַת נַפְשִׁי אֶחְבֶּרֶה עֲלֵיכֶם בְּמַלְיָי וְאֶנִּיעָה: 5
代わりに 私の-魂の 並べ立てただろう あなたがたに-対して 言葉を そして-振っただろう
[H8478](#) [H5315](#) [H2266](#) [H4405](#) [H5128](#)

וְעַלְיֹכֶם בְּמוֹ רֹאשִׁי: 6
あなたがたに-向かって この 頭を
[H1119](#)

わたしもあなたがたのように語ることができる。もしあなたがたがわたしと代ったならば、わたしは言葉を練って、あなたがたを攻め、あなたがたに向かつて頭を振ることができる。

וְאֶאֱמָצְכֶם בְּמוֹ-פִי וְנִידִי וְנִידִי: 7
力づけただろう この 口で そして-動きは 唇の 抑えただろう
[H0553](#) [H1119](#) [H6310](#) [H5205](#) [H8193](#) [H2820](#)

また口をもって、あなたがたを強くし、くちびるの慰めをもって、あなたがたの苦しみを和らげることができる。

אִם-וְאֶדְבַּרְהָ לֹא-יִחַשְׁדָּךְ כָּאֵבִי וְאֶחְדָּלָה מִנִּי יִהְיֶה: 8
たとえ 語っても ない 和らがない 痛みは そして-やめても 私から 去るだろうか
[H1696](#) [H3808](#) [H2820](#) [H3511](#) [H2308](#) [H4100](#) [H1980](#)

たといわたしは語っても、わたしの痛みは和らげられない。たといわたしは忍んでも、どれほどそれがわたしを去るであろうか。

אֶדָּךְ-עַתָּה הִלְאַנִּי הַשְׁמוֹתָ כָּל-עַדְתִּי: 9
確かに 今 疲れ果てさせた 荒廃させた すべての 仲間を
[H0389](#) [H6258](#) [H3811](#) [H8074](#) [H3605](#) [H5712](#)

まことに神は今わたしを疲れさせた。彼はわたしのやからをことごとく荒した。

8
 בָּפְנָי כָּחַשִׁי כִּי וַיִּקָּם הָיָה לְעֵד וַתִּקְמַטְנִי
 顔に-向かって やせ衰えは 私に-対して そして-立ち上がった なった 証人と そして-しわ寄せた
[H6440](#) [H3585](#) [H1961](#) [H5707](#) [H7059](#)

יְעֵנָה:
 証言する

彼はわたしを、しわ寄せた。これがわたしに対する証拠である。またわたしのやせ衰えた姿が立って、わたしを攻め、わたしの顔にむかって証明する。

9
 עֵינָיו יִלְטֹושׁ אֶזְרִי בְּשֵׁנָיו עָלַי חָרַק וַיִּשְׁטָמְנִי וַאֲרָרָה אִפּוֹ
 目を 研ぎ澄ます 敵は 歯を 私に-対して きしらせた そして-敵視した 引き裂いた 怒りが
[H3913](#) [H8127](#) [H2786](#) [H7852](#) [H2963](#) [H0639](#)

לִּי:
 私に

彼は怒ってわたしをかき裂き、わたしを憎み、わたしに向かって歯をかみ鳴らした。わたしの敵は目を鋭くして、わたしを攻める。

10
 יַתְמָלְאוּן: עָלַי יַחַד לְחֵנִי הִכּוּ בְּחַרְפָּה בְּפִיָּהֶם וְעָלַי פָּעְרוּ
 群がった 私に-対して 共に 頬を 打った 侮辱して 口を 私に-対して 開いた
[H4390](#) [H3895](#) [H5221](#) [H2781](#) [H6310](#) [H6473](#)

人々はわたしに向かって口を張り、侮ってわたしのほおを打ち、ともに集まってわたしを攻める。

11
 יִרְמְנִי: רָשָׁעִים יְדֵי וְעַל- עֲוִיל אֶל אֵל וַיִּסְוֶרְנִי
 投げ出した 悪しき-者たちの 手に そして-上に 不義な-者に へ 神は 引き渡した
[H7563](#) [H3027](#) [H5760](#) [H0413](#) [H0410](#) [H5462](#)

神はわたしをよこしまな者に渡し、悪人の手に投げいられる。

12
 וַיִּפְצַּצְנִי בְּעַרְפִּי וַאֲחֹז וַיִּפְרֹפְרֵנִי וְהָיִיתִי שָׁלוֹ
 そして-粉々に-した 首筋を そして-つかんだ そして-打ち砕いた 暮らしていた 安らかに
[H6203](#) [H0270](#) [H1961](#) [H7961](#)

לְמַטְרָה:
 的として לוֹ וַיִּקְיַמְנִי
 的として ご自身の そして-立てた
[H4307](#)

わたしは安らかであったのに、彼はわたしを切り裂き、首を捕えて、わたしを打ち砕き、わたしを立てて的とされた。

13
 לְאָרֶץ יִשְׁפָּךְ יַחְמוּל וְלֹא וַיִּפְלַח רָבִיו וְעָלַי וַיִּסְבּוּ
 地に 注ぎ出す 容赦しない そして-ない 腎臓を 突き刺す 射手たちは 私を 囲んだ
[H0776](#) [H8210](#) [H2550](#) [H3808](#) [H3629](#) [H6398](#) [H7228](#) [H5437](#)

מִרְרָתִי:
 胆汁を
[H4845](#)

その射手はわたしを囲む。彼は無慈悲にもわたしの腰を射通し、わたしの肝を地に流れ出させられる。

14
 כְּגִבּוֹר: עָלַי יָרַץ פָּרַץ פָּנִי- עַל- פָּרַץ וַיִּפְרָצְנִי
 勇士の-ように 私に-向かって 走る 破れ口の 面に の-上に 破れ口を 打ち破る
[H1368](#) [H7323](#) [H6556](#) [H6440](#) [H6556](#) [H6555](#)

彼はわたしを打ち破って、破れに破れを加え、勇士のようにわたしに、はせかかられる。

שֶׁק 15
 荒布を
 תְּפֵרְתִּי
 縫い付けた
 עָלַי
 上に
 גִּלְדִּי
 肌の
 וְעִלְלָתִי
 そして-汚した
 בְּעָפָר
 塵の-中に
 קַרְנֵי:
 角を
 H6083 H1539 H8609 H8242

わたしは荒布を膚に縫いつけ、わたしの角をちりに伏せた。

פָּנַי 16
 顔は
 [חַמְרַמְרָה] |
 赤く-なった
 חַמְרַמְרוֹ) |
 赤く-腫れた
 מִנֵּי-
 から
 בָּכִי
 泣くこと
 וְעַל
 そして-上に
 עַפְעָפִי
 まぶたには
 צִלְמוֹת:
 死の-陰が
 H6757 H6079 H1065 H6440

わたしの顔は泣いて赤くなり、わたしのまぶたには深いやみがある。

עַל 17
 にも-かかわらず
 לֹא-
 ない
 הַמָּס
 暴虐は
 בְּכַפִּי
 手に
 וְתַפְלָתִי
 そして-祈りは
 זָכָה:
 清い
 H2134 H8605 H3709 H2555 H3808

しかし、わたしの手には暴虐がなく、わたしの祈は清い。

אֶרֶץ 18
 地よ
 אֵל-
 ない
 תִּכְסֶּי
 覆い-隠すな
 דָּמִי
 血を
 וְאֵל-
 そして-ない
 יְהִי
 あるな
 מְקוֹם
 場所が
 לְזַעֲקָתִי:
 叫びの-ために
 H2201 H4725 H1961 H0408 H1818 H3680 H0408 H0776

地よ、わたしの血をおおってくれるな。わたしの叫びに、休む所を得させるな。

גַּם- 19
 今も
 עֲתָה
 なお
 הִנֵּה-
 見よ
 בַּשָּׁמַיִם
 天に
 עֵדִי
 証人が
 וְשֹׁהֲדִי
 そして-保証人が
 בְּמַרְוָמִים:
 高き-所に
 H4791 H7717 H5707 H8064 H2009 H6258 H1571

見よ、今でもわたしの証人は天にある。わたしのために保証してくれる者は高い所にある。

מְלִיצֵי 20
 嘲る-者たちは
 רֵעִי
 友よ
 אֶל-
 へ-向かって
 אֱלֹהֵי
 神に
 דְּלִפָּה
 滴り落ちた
 עֵינַי:
 目は
 H1811 H0433 H0413 H7453 H3887

わたしの友はわたしをあざける、しかしわたしの目は神に向かって涙を注ぐ。

וְיִזְכָּח 21
 そして-弁じてくださるよう
 לְגִבְר
 人の-ために
 עִם-
 と-共に
 אֱלֹהֵי
 神と
 וְיִגְן-
 そして-人の-子が
 אָדָם
 人の
 לְרֵעֵהוּ:
 隣人の-ために
 H7453 H0120 H0433 H1397 H3198

どうか彼が人のために神と弁論し、人とその友との間をさばいてくれるように。

כִּי 22
 なぜなら
 שָׁנוֹת
 年月は
 מִסְפָּר
 数えられる
 יָאֲתִי
 来る
 וְאֶרְח
 そして-道を
 לֹא-
 ない
 אֲשׁוּב
 戻らない
 אֶהְלֵךְ:
 行く
 H1980 H7725 H3808 H0734 H0857 H4557 H8141

数年過ぎ去れば、わたしは帰らぬ旅路に行くであろう。